

10

除草剤によるヤブガラシ類の防除効果の比較

ヒイラギヤブガラシが繁茂したほ場において、茎葉処理剤を散布したところ、グリホサートカリウム塩液剤は約1ヶ月後、ジクワット・パラコート液剤は3日後に防除効果が確認された。なお、ジクワット・パラコート液剤は接触型の除草剤のため43日後には再萌芽が認められた。

3日後(11月29日)

34日後(12月30日)

43日後(1月8日)

◎グリホサートカリウム塩液剤 (ラウンドアップ・マックスロード)



地上部が
枯死

◎ジクワット・パラコート液剤 (プリグロックスL)



地上部枯死
後、再萌芽
が認められ
る。

◎2,4-PA 液剤 (2,4-D「石原」アミン塩)



除草効果は
認められる
が、かけむ
らによる残
草があった。

◎アシュラム液剤 (アージラン)



ヤブガラシ
類の殺草効
果は認めら
れなかった。

◎DCMU 水和剤 (カーメックスD)



※上記の薬剤名：農薬の種類（商品名）を表す。

※本試験は、平成25年11月26日に茎葉処理剤を散布して実施した。